

2014年度 第2回

日本社会福祉学会関東地域部会運営委員会 議事録

日時：2014年8月27日（水）18:00-21:00

場所：東洋大学白山キャンパス6号館1階第3会議室

出席者（敬称略）：高山直樹、森田明美、大島巖、荒井浩道、岡田哲郎、岡部卓、小野孝嘉、北本佳子、黒岩亮子、小林理、齊藤順子、榊原美樹、佐藤信人、高橋克典、田嶋英行、月田みづえ、贅川信幸、原田欣宏、菱沼幹男、山口麻衣、山田知子、李恩心、六波羅詩朗、渡邊浩文、大山早紀子（前事務局）、丸山晃（事務局）、木口恵美子（事務局）、由良亮人（事務局）

〔報告〕

1. 各部会活動報告

- ・ホームページ ・ニューズレター ・研究奨励賞 ・社会福祉学評論 ・編集委員会
- ・関東部会研究大会

以下の〔議題〕を参照

2. その他

- ・特になし

〔議題〕

1. 運営委員および役割分担について

- ・芝田先生の後任：岡田哲郎先生（立教大学）、広報委員
- ・事務局新任：由良（日本知的障害者福祉協会）

2. ホームページ【荒井氏報告】

- なるべく早い段階での情報提供を引き続き行う
- ・大会日程や開催地等の周知

3. ニューズレター【小野氏報告】

ニューズレターの発行について：別紙参照

- ・ニューズレターvol.7（昨年度発行）：別紙参照
- ・1年に1通発行、発行対象1,800人程度、他の情報提供はHP等で行う
- ・昨年度は2月に発行、今年度は12月を目標に発行予定
- ・10月中旬から執筆依頼、執筆要綱等メール添付
- ・内容（①理事寄稿、②昨年度大会報告、③新任委員寄稿、④他学会寄稿、⑤大会お知らせ、⑥運営委員寄稿） 8ページで構成予定
- ・昨年度に業者による編集システム化を導入、入稿原稿次第で発行時期が変わる

4. 2014 年関東部会研究大会

場所：東洋大学白山キャンパス

開催日：平成 27 (2015) 年 3 月 15 日 (日) ※東洋大学教授会の為、3/14 なし

実行委員長：開催校 (東洋大学) より選出

大会テーマ：大会担当にて検討

記念講演：大会担当にて検討

シンポジウム：大会担当にて検討

※本日の検討内容 (別紙) を参考に大会担当にて再度検討を行い、次回運営委員会において、案を提示し確認する。

5. 研究奨励賞【小野氏報告】

研究大会奨励賞実施に係る業務プロセス：別紙参照

次回の運営委員会にて具体的検討を行う、今回は委員の役割分担 (業務) の確認

- ・業務プロセス (別紙 P1 参照：申込から選考結果までのながれ)
- ・業務の確認

事前審査 (別紙 P2~4 参照：依頼文書・内規・審査基準)

口頭審査 (別紙 P5 参照：採点項目・評価基準)

(次回課題)

- ・スケジュール前倒しの必要性 (特に結果発表)
- ・研究大会での発表や分科会設定
- ・事前審査の内容

(意見)

- ・必要に応じてプロセスの見直しを検討
- ・今回、初めての受賞者を選出
ホームページやニュースレター等に受賞者情報の掲載し、研究奨励賞の広報や周知の拡大をおこなう

6. 社会福祉学評論、編集委員会【大島氏報告】

社会福祉学評論・投稿／査読状況：別紙参照

- ・新規投稿者の増加、今年前半で 8 編、昨年は年間 7 編
- ・投稿期間〆切の設定解除 →投稿数が減少
- ・投稿期間〆切の再設定 (3・6・9・12 月) →投稿数が増加
- ・投稿のながれとして、査読中の論文が受理 (A 評価) されると →ホームページ掲載
- ・順調に若手の投稿が増え、査読システムが確立されつつある
- ・暫定的に日本社会事業大学 (大島氏) が編集事務局を担当しているが、9 月末の投稿〆切期間に合わせて、編集事務の東洋大学 (高山氏) への引き継ぎを予定 (打ち合わせ中)

7. その他

メールの一斉配信について

- ・電子ジャーナルの掲載後、ガリレオ（前委託業者）時は会員に対して、メールの一斉配信を行っていた
- ・現在の部会ごとの会員に対するメール配信体制について、高山氏が確認する
- ・担当理事の業務から随時のニュース発信や大会の情報提供等を広報担当や編集担当への移管を念頭に置いた体制を検討する
- ・一斉配信のメリット：HP アクセス数の増加が見込める、ネット上での集約が可能
- ・一斉配信の業者への業務委託の検討
- ・以前、一斉配信を広報委員会で試みたが、事務局との距離があり、臨機応変的な情報提供が難しい

8. 次回運営委員会

2014年11月12日（水）18:30～ 場所未定（東洋大学）

記録：由良亮人